


**日本KFCホールディングス株式会社**  
**2023年3月期 第2四半期 決算説明会**

**2022年11月9日（水）**  
**（東証スタンダード 証券コード 9873）**



- 
- 1. 2022年度 第2四半期決算概要と2022年度業績見通し**
  - 2. 2022年度 第2四半期決算実績**



# **1. 2022年度 第2四半期決算概要と 2022年度業績見通し**

# 2022年度 第2四半期実績ハイライト

## チェーン売上高

**740億円**

前年比 ▲1.6%

## 既存店売上高

前年比  
▲5.4%  
2019年度比  
+16.3%

## 店舗数

**1,189店舗**

前期末比 +17店舗

## デリバリー対応

**682店舗**

前期末比 +85店舗

## 売上高

**467億円**

前年比 ▲13億円

## 営業利益

**14億円**

前年比 ▲25億円

## 経常利益

**18億円**

前年比 ▲27億円

## 当期純利益

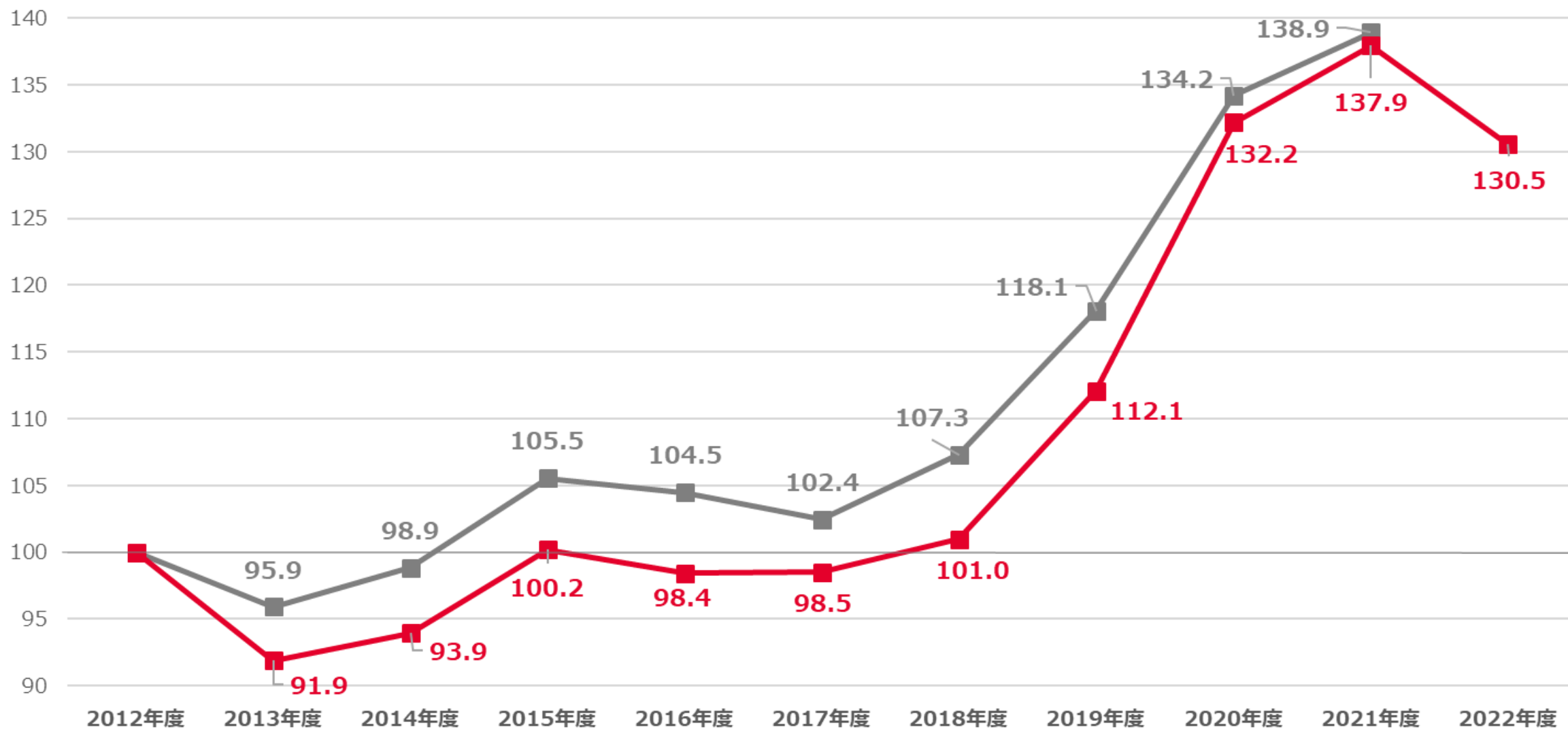
**12億円**

前年比 ▲15億円

# 外部環境の変化

	消費行動の変化	事業へのインパクト
インフレ・円安の進行 エネルギー価格の高騰	<ul style="list-style-type: none"><li>生活防衛意識の高まり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>食材価格・物流費の高騰</li><li>光熱費の上昇</li></ul>
まん延防止等重点措置 解除後の動向	<ul style="list-style-type: none"><li>選択肢の広がり（外食・中食）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>コロナ禍で上昇したテイクアウト、 ドライブスルー需要の減少</li><li>イートイン需要の回復</li></ul>
生活習慣の変化	<ul style="list-style-type: none"><li>在宅勤務の定着、デリバリー利用 の日常化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>都心部店舗におけるビジネスモデル の変化</li></ul>
人手不足	<ul style="list-style-type: none"><li>賃金の上昇</li></ul>	

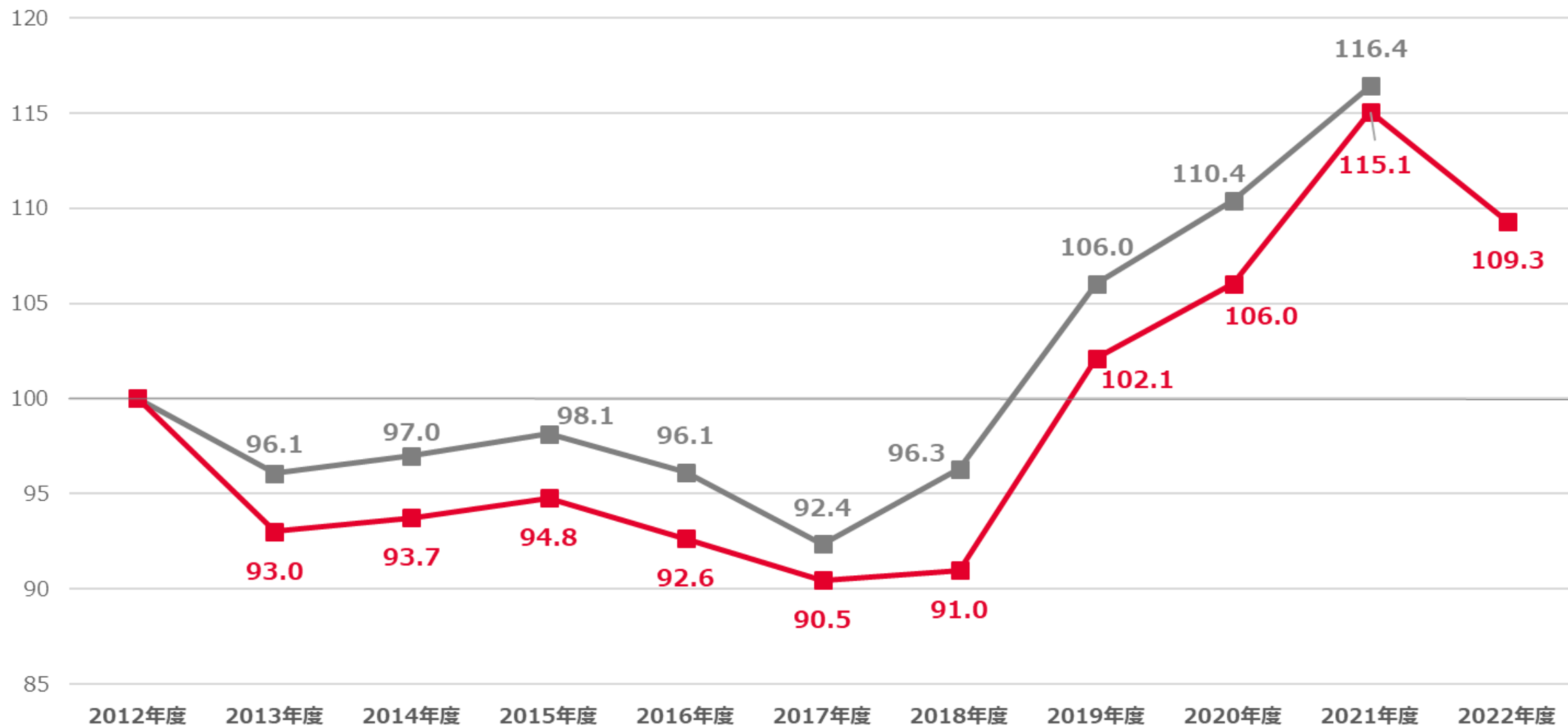
# 既存店売上高推移



※ 2012年度を100とする

■ 通期 ■ 第2四半期累計

# 既存店客数推移



※ 2012年度を100とする

■ 通期 ■ 第2四半期累計

# 成長に向けた取り組み

お客様の**利便性**及び**体験価値**の向上を目指し、以下の取り組みを継続的に実施してまいります。

## 1. KFCをエブリデイブランドへ

- 魅力的な商品・プロモーションの展開
- 適切な価格戦略
- 個食需要への対応（バーガーリニューアル）

## 2. もっと近くに、より快適に

- 積極出店
- 戦略的改装の推進
- セルフレジの導入

デジタル戦略：    デリバリー対応の強化    オンラインオーダーの進化    CRM強化

## 3. 「安全・安心なおいしさ」の追求

- QSC×H活動の徹底



# KFCをエブリデイブランドへ

KFCファンを増やし、更なる日常化につなげる

魅力的な商品・プロモーションの展開

お得感のある商品の展開

あらゆる場面や時間帯のニーズに合った商品・サービスの展開



チキンのスペシャリストとして、お客さまのご期待にこたえる商品・メニューの開発

# KFCをエブリデイブランドへ

バーガーリニューアル 「KFC BURGERS誕生！」





# KFCをエブリデイブランドへ

## 11月～12月主要キャンペーンのご紹介



# KFCをアプリデイブランドへ

お客さまの利便性・快適性の向上

## デリバリー対応の強化

Uber  
Eats

Demaecan

Wolt

menu



ピックアップロッカー

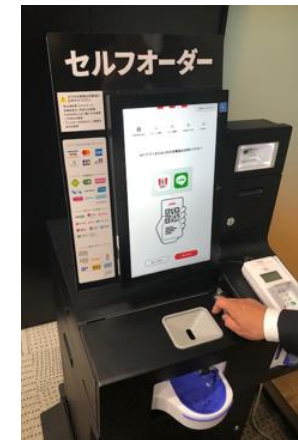


## アプリとネットオーダーの連携

KFCアプリ 2300万ダウンロード達成  
KFCネットオーダーの進化



## デジタル戦略



スマートデバイスを中心としたデジタルメディアの機能強化により、お客さまの体験価値を高める



	2021年度実績	2022年度第2四半期実績	前期末比
デリバリー実施店舗数	597	682	+85



# もっと近くに、より快適に

「近くに店舗があればもっと利用するのに…」というお客さまのニーズに応える

## 積極出店・改装



	期末店舗数	前期末比（純増）	改装店舗数
2022年度 通期計画	1,192店舗	+20	185
2022年度 第2四半期実績	1,189店舗	+17	78

# おいしさ、しあわせ創造

## 環境保全への取り組み・CSR活動の推進

フードロスの削減・地球にやさしい素材へ

地域を支え、人を支える



子ども食堂への食材提供

フードドライブ

限りある資源を大切に



プラスチック削減

## 誰もがいきいきと働ける職場の実現

すべての人の成長・活躍を支える制度の整備

能力開発・ダイバーシティの推進



# 2022年度 日本KFCホールディングス(株) 連結業績予想

	2022年度 修正予想値	2022年度 期初予想値	増減
売上高	970億円	1,012億円	▲42億円
営業利益	22億円	48億円	▲26億円
経常利益	26億円	48億円	▲22億円
当期純利益	16億円	29億円	▲13億円

年間配当金といたしましては、  
中間配当として25円、期末配当として25円 を予定しております。



## **2. 2022年度 第2四半期決算実績**



# 連結損益

単位：百万円

	2022年度 第2四半期		2021年度 第2四半期		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	46,781	-	48,109	-	▲1,327	-
売上総利益	18,871	40.3%	20,497	42.6%	▲1,625	▲2.3%
販売管理費	▲17,404	▲37.2%	▲16,477	▲34.2%	▲926	▲3.0%
営業利益	1,467	3.1%	4,019	8.4%	▲2,552	▲5.2%
営業外損益	414	0.9%	589	1.2%	▲175	▲0.3%
経常利益	1,881	4.0%	4,609	9.6%	▲2,727	▲5.6%
純利益	1,225	2.6%	2,788	5.8%	▲1,563	▲3.2%

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各自治体からの感染拡大防止協力金（161百万円）および持分法による投資利益（226百万円）を営業外収益に計上しております。詳細につきましては、2022年11月9日公表の「営業外収益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

# (2022年11月9日開示資料より)

## 1. 営業外収益（受取協力金）の計上について

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う前連結会計年度を対象とする感染拡大防止協力金につき、今般、各自治体から入金を実施されたことにより、2023年3月期第2四半期連結会計期間において、受取協力金71百万円を営業外収益に計上いたしました。この結果、2023年3月期第2四半期連結累計期間において、受取協力金161百万円を営業外収益に計上いたしました。

## 2. 営業外収益（持分法による投資利益）の計上について

当社の持分法適用関連会社であるBamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.においては、外国人観光客の受入再開等により、また株式会社ビー・ワイ・オーにおいては、まん延防止等重点措置の解除を受けての外出機会の増加等により、緩やかながらも業績回復の兆候が見え始めております。

これにより、2023年3月期第2四半期連結会計期間において、持分法による投資利益75百万円を営業外収益に計上いたしました。この結果、2023年3月期第2四半期連結累計期間において、持分法による投資利益226百万円を営業外収益に計上いたしました。

## (持分法による投資損益の内訳)

(単位：百万円)

	出資時から 2022年3月期	2023年3月期			出資時から 当第2四半期
	累計損益	第1四半期 累計利益	当第2四半期 計上損益	当第2四半期 累計損益	累計損益
Bamboo(Thailand) Holding Pte. Ltd.	236	118	135	254	491
株式会社ビー・ワイ・ オー	▲2,885	32	▲60	▲27	▲2,913
合 計	▲2,648	151	75	226	▲2,422

なお、Bamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.は当社連結子会社であるFast Restaurant International Pte. Ltd.（投資持株会社）を通じて出資しており、四半期毎に公正価値評価を実施しております。

## 3. 業績に与える影響

上記につきましては、本日公表の「2023年3月期第2四半期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しております。なお、当社グループは、2022年5月12日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

# 連結財務指標

指標	2022年度 第2四半期	2021年度末
自己資本比率（％）	57.4	56.0
自己資本利益率（％）	4.5	18.1
総資産純利益率（％）	2.6	10.1
1株当たり純資産（円）	1,216	1,198
1株当たり当期純利益（円）	54.8	203.9
期末日株価終値（円）	2,708	2,842
時価総額（百万円）	60,511	63,479

# 連結キャッシュ・フロー

単位：百万円



現金及び現金同等物の  
期首残高

695

営業活動による  
キャッシュ・フロー

▲125

投資活動による  
キャッシュ・フロー

▲795

財務活動による  
キャッシュ・フロー

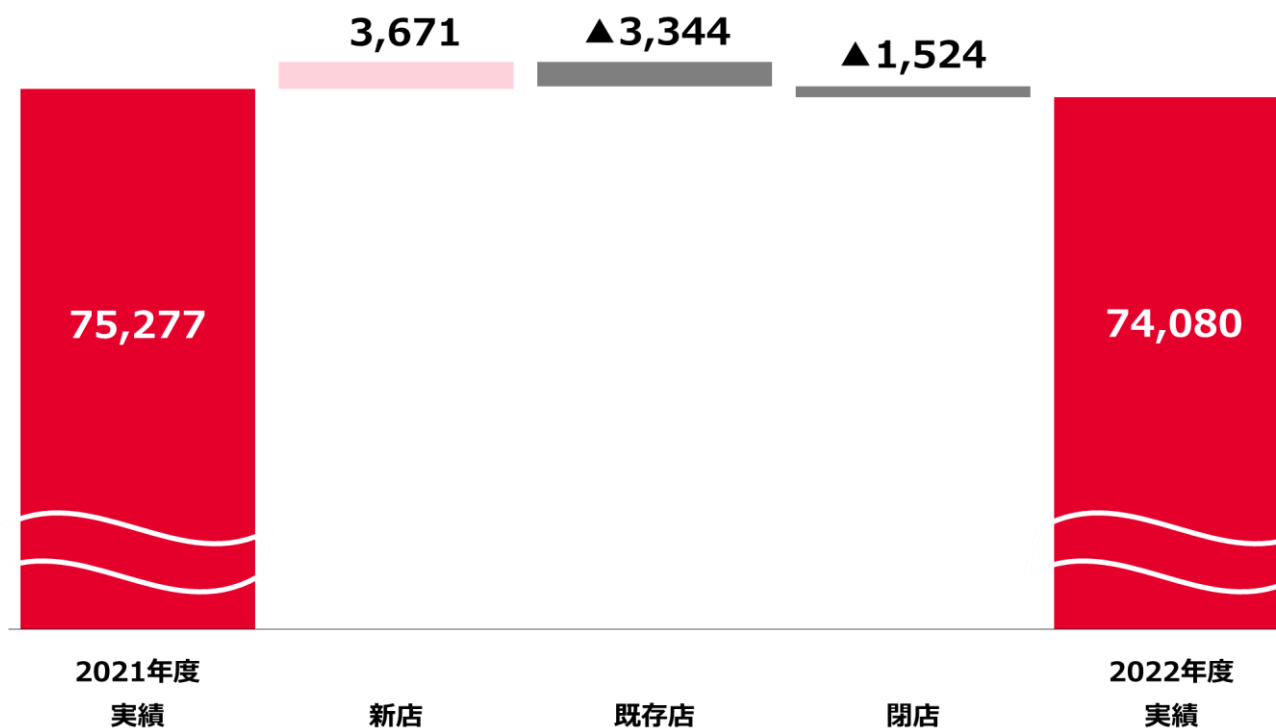


現金及び現金同等物の  
第2四半期末残高  
(有利子負債なし)

# KFC事業 チェーン売上高（第2四半期）

単位：百万円

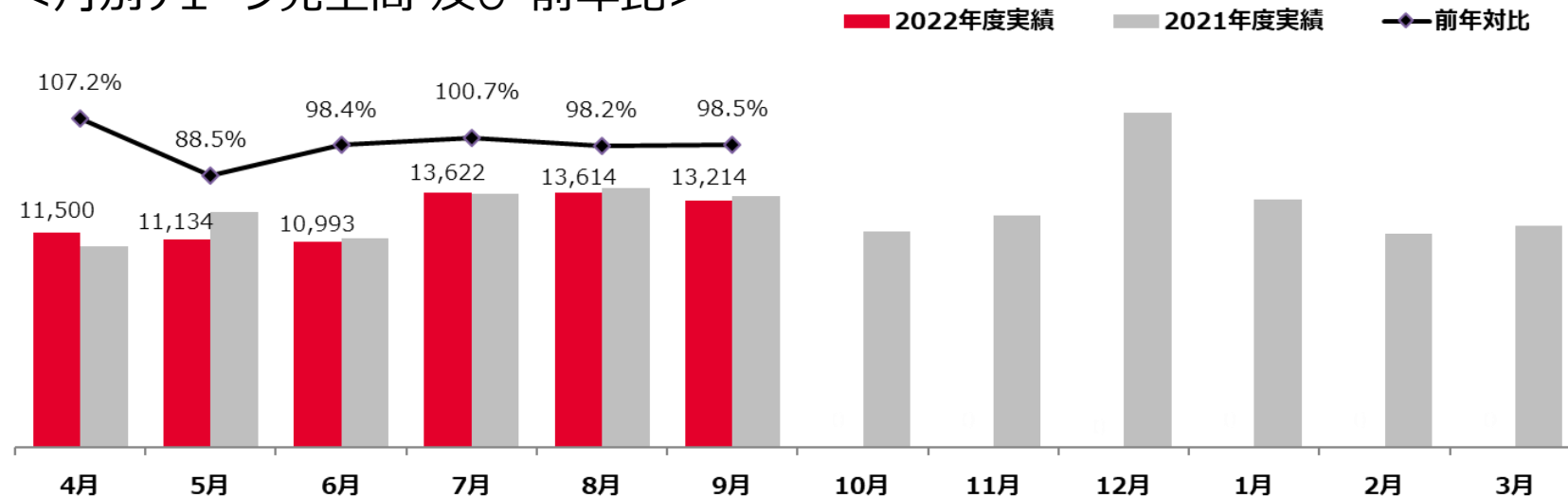
	2022年度実績	2021年度実績	増減
直営	20,534	21,388	▲854
フランチャイズ	53,546	53,888	▲342
チェーン売上高	74,080	75,277	▲1,196



# 月別チェーン売上高・既存店前年比

単位：百万円

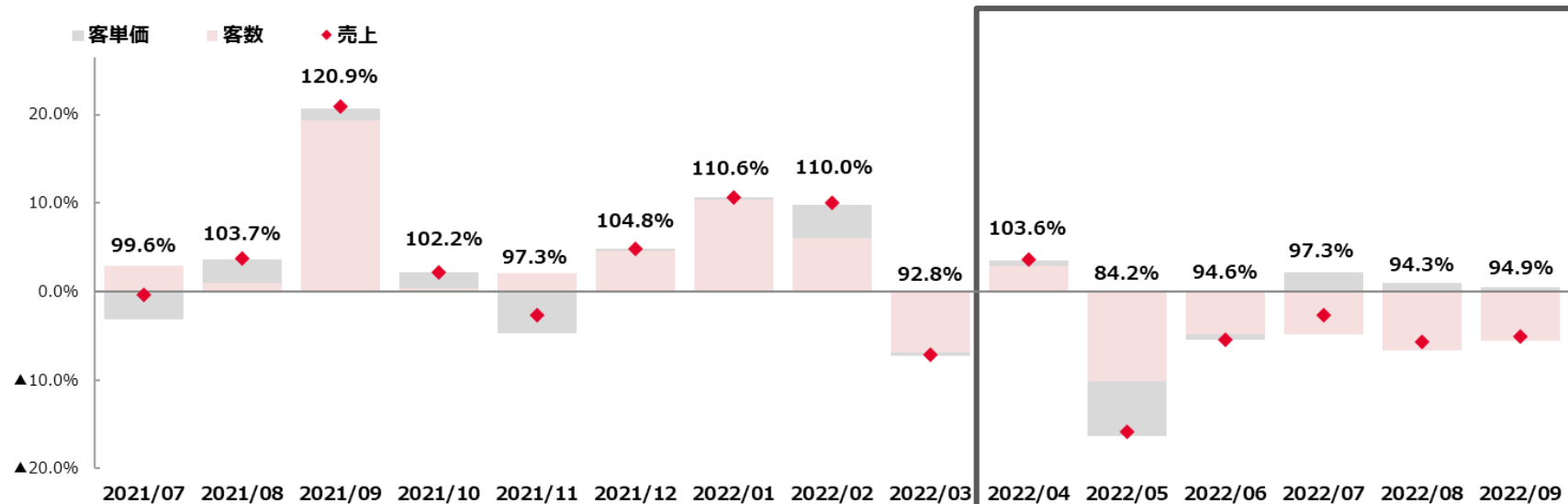
## <月別チェーン売上高 及び 前年比>



第2四半期累計  
前年度対比  
売上高 98.4%

2019年度対比  
売上高 120.8%

## <月別既存店前年比 内訳 (客数・客単価)>



第2四半期累計  
前年度対比  
売上高 94.6%

客数 95.0%

客単価 99.6%

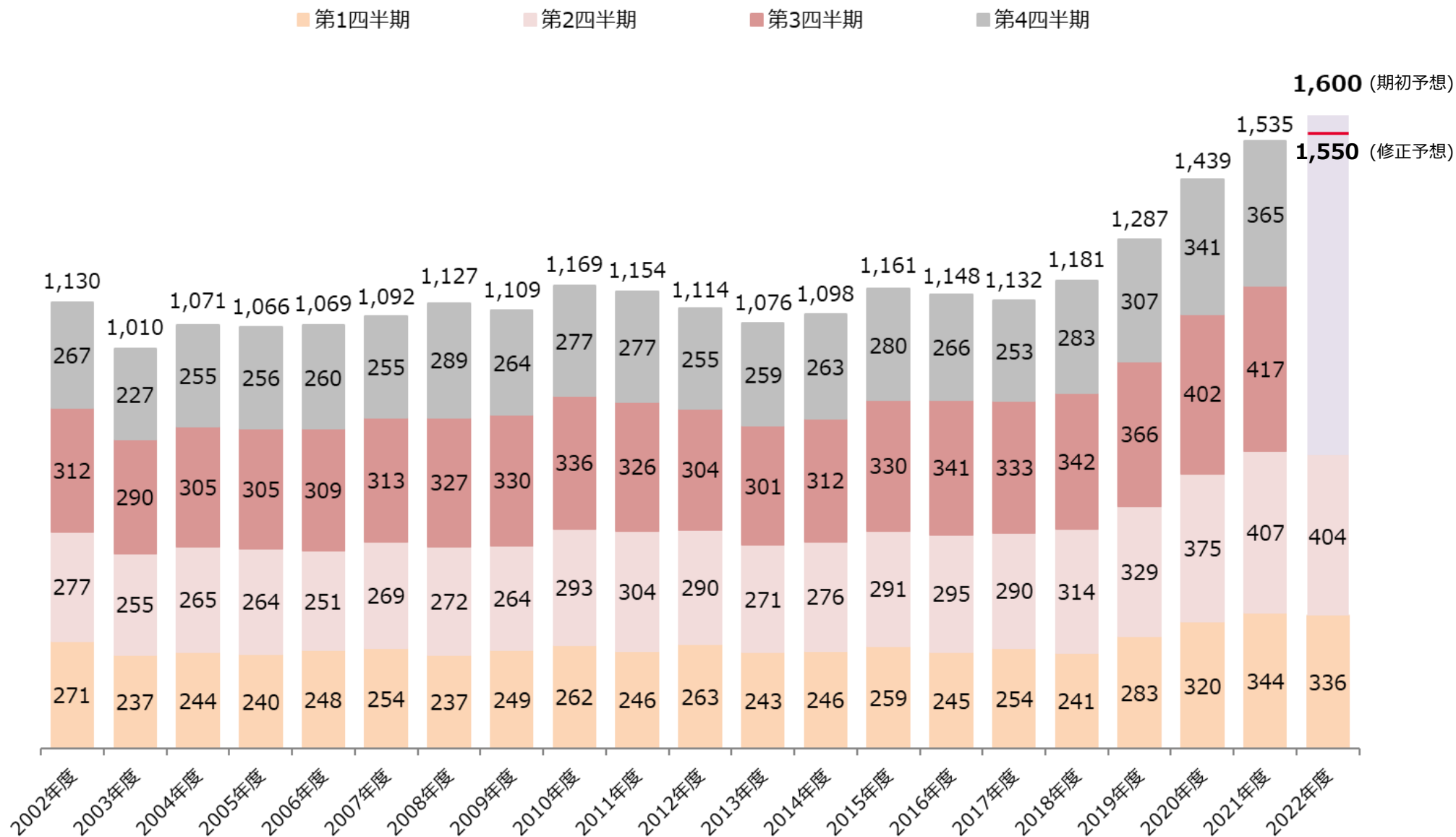
2019年度対比  
売上高 116.3%

客数 106.9%

客単価 108.8%

# 年度別チェーン売上高 長期推移

単位：億円





本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



***KFC***